

平成28年10月6日

6年生保護者各位

刈谷市立小垣江東小学校
校長 柴田 芳之

全国学力・学習状況調査の調査結果について

秋冷の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろは、本校の教育活動にご理解、ご支援をいただきありがとうございます。

さて、4月19日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果が、文部科学省から届きました。

つきましては、下記の通り調査結果の取り扱いに関する方針と本校の調査結果の概要をお知らせします。また、お子様の結果につきましても、個人票をお渡ししましたのでご覧ください。

記

1 調査結果の取り扱いに関する方針

本校は、文部科学省および愛知県教育委員会が示した「序列化や過度な競争とならないようにするため、文部科学省から提供された平均値等の数値そのものを公表しない」「データを分析し、改善すべき点の把握に努める」という方針に基づいて、調査結果の概要を報告させていただきます。

2 本校の調査結果の概要

国語 知識 (国語A)	<ul style="list-style-type: none">概ね満足できる状態である。観点別では「言語についての知識・理解・技能」における正答率が高い。特に、漢字を正しく読んだり、書いたりすることができている。今後は、「書く能力」（目的に応じて書く力）を伸ばすよう配慮したい。
国語 活用 (国語B)	<ul style="list-style-type: none">概ね満足できる状態である。領域別の「話す・聞く能力」については、話し手の意図をとらえながら聞き、話の展開に沿って質問することがよくできている。今後は、目的に応じた読み方、表現の仕方を伸ばすよう配慮したい。
算数 知識 (算数A)	<ul style="list-style-type: none">概ね満足できる状態である。領域別では、「数と計算」「図形」における正答率が高くなっている。基礎的な四則計算や図形の構成がよくできていた。今後は、「量と測定」特に単位量当たりの考えを伸ばすよう配慮したい。
算数 活用 (算数B)	<ul style="list-style-type: none">満足できる状態であるが、より伸ばしたい点もある。観点別では、特に「数量や図形についての技能」や記述問題に課題がある。今後は、実際に物を見たり、図を描いたりしながら、説明する場面を増やすなどの配慮をしたい。
児童 質問紙	<ul style="list-style-type: none">全体的に規範意識が高く、基本的な生活習慣も身に付いている。また、善悪のけじめをつけ、思いやりをもって生活している。ほとんどの児童は家庭で宿題をきちんと行っているが、予習や復習などを自分で計画して学習に取り組んでいる児童は少ない。読書が好きという児童は多くいたが、1日の読書時間が30分以下という児童もたくさんいる。家庭で、計画を立てて勉強したり、本や新聞を読んだりして、将来の夢や目標に向けて意欲的に努力を重ねていく力を伸ばすよう配慮したい。自分に自信をもてない児童が多い。ふれあい活動や児童会活動など達成感や満足感を味わうことができるような機会を増やし、自己肯定感、自己有用感を高めることができるよう配慮したい。国語や算数の教科の必要性を感じ、児童が自ら進んで学習に取り組んでいけるように配慮したい。